

新型コロナウイルス環境下における メンタルヘルス対策セミナー

～急激な働き方変化に伴う社員のメンタルヘルス対策を学ぶ～

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各社ともテレワーク等での勤務が一挙に拡大するなど、働き方が大きく変わってきております。そのような中、会社の方針により突然テレワーク勤務中心となって、働く環境の急激な変化によりストレスが急増し(例：コミュニケーションの難しさ、ITツールへの対応必要性の増大、プライベートとの切り分けの難しさなど)、いわゆる「在宅うつ」といわれる適応障害を起こす社員が出てくる可能性も指摘されています。

また一方でテレワークができない職種の社員にとっては、新型コロナウイルス環境下での通勤ラッシュに対する感染不安ストレスのみならず、特に人的接触の多い職場においては、より一層の感染不安ストレスが増加しており、多くの社員がこれまでにないストレスを抱えながら仕事をしているのが現状です。

このようなストレスが増加している社員に対して、会社側としては、社員への安全配慮義務を果たすためにも、社員のストレス状況を常にウォッチし、ケアをしていくことが必要です。

そこで本セミナーでは講師として、横浜労災病院や海外勤務健康管理センターなどにおいて、長年、勤務者のメンタル治療・研究に従事され、現在も第一線で精神不調者の治療や企業へのアドバイスをこなしている津久井要先生をお招きし、新型コロナウイルス環境下におけるメンタルヘルス対策のポイントについて解説していただきます。ぜひご参加ください。

<セミナー概要>

日 時	2020年11月26日(木) 14:30～16:30
場 所	東京都立産業貿易センター浜松町館・第2会議室(4階) (東京都港区海岸1-7-1) *JR浜松町駅北口より徒歩5分
内 容	「新型コロナウイルス環境下におけるメンタルヘルス対策」 ・働き方の変化、労働環境の変化に伴うストレスの特徴 ・企業のメンタルヘルス対策の必要性(コンプライアンス・安全配慮義務等) ・企業側の対策と社員側に実施してもらうストレス対策 ほか
講 師	港北もえぎ心療内科・院長 津久井 要 氏 <講師略歴> 東北大学医学部卒。その後、いわき市立総合磐城共立病院消化器内科医長、東京大学医学部附属病院分院心療内科医員、都立駒込病院心身医療科医師、横浜労災病院心療内科専修医、海外勤務健康管理センター医長、海外勤務健康管理センター研究情報部副部長、横浜労災病院・心療内科部長等を経て、2018年より現職
参加費	人事賃金センター会員又は経団連会員：13,200円(12,000円+消費税1,200円) 一般：19,800円(18,000円+消費税1,800円)
定 員	人事・総務・労務・健康管理担当者等 30名 (先着順)

[申込要領] ①裏面「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込みください(定員になり次第、締め切ります)。開催日の1週間前をめぐりに、参加証と請求書、会場地図をお送りします。

②参加費は、後日お送りいたします請求書に記載の銀行にお振込ください。

③当日のお取り消し・ご欠席は参加費全額を申し受けます(資料を後日送付)。

[お問い合わせ先] 経団連事業サービス(平田・昼間) TEL:03-6741-0047

